

県退職者連合情報

No. 7 1 2019.4.22

青森市本町 3-3-11 連合青森内

Tel 017-735-0558

発行責任者 川村 数彦

青森県退職者連合

2018年度「政策・制度」自治体要請

高齢者支援対策、介護保険などの要請を青森県や6市へ 十和田市、弘前市、つがる市、五所川原市、むつ市、八戸市

日本退職者連合は、昨年秋から「年金、医療、介護」など2018年度「政策・制度要求」について自治体要請を取り組み、全国的には44の地方退職者連合で実施、要請した自治体数は500余りにのびりました。

自治体要請行動は2014年からスタートし、当時の要請数は168でしたので、4年間で要請数は3倍に拡大しました。

青森県退職者連合は、11月16日（金）に開催した第28回定期総会で、5年目になる今年も青森県をはじめ、各自治体（市）に対しての要請行動を取り組むことを確認し、12月から3月まで、県と初めての要請となった十和田市など6市で要請行動を行ないました。

また、地域退連では、要請事項の事前打ち合わせの開催や、地域の独自要求も増えたほか、昨年同様、要請行動には連合青森をはじめ、各地協議長・事務局長、連合推薦議員にご協力を頂きました。

青森県退職者連合

「要請をしっかりと受け止める」、県からは健康福祉部長が対応 介護予防給付の改善、認知症対策など6項目について求める

青森県退職者連合は、1月28日（月）11時から、青森県に対し2018年度「政策・制度」に関する要請を行いました。

要請内容と回答要旨については、12月28日（金）事前調整を泉事務局長と県の担当者が事務レベルで行っていました。

要請には、県退連から川村会長、蒔田副会長、泉事務局長、連合青森から大澤副事務局長の4名が出席しました。また、協力頂いた一戸県議会議員（連合青森推薦）も同席しました。



＜要請書を提出する川村会長など＞

青森県からは菊地健康福祉部長が部長室で対応、川村会長は県に対し「要請書」を提出した後、後日「文書回答」するように求め、県からは2月18日に文書回答されました。



＜要請に対する部長見解（県側）左＞

-----＜主な要請事項＞-----

1. 予防給付（訪問介護、通所介護）の実態把握と改善について
2. 認知症高齢者対策について
3. 高齢者支援対策について
4. 「短命県返上」のための県の取り組みについて
5. 低所得者に対する灯油購入費の支給など財政措置について
6. 地域公共交通の充実について

上十三地域退職者連合

小山田十和田市長に、久慈・畑山市議と共に要請書

（十和田市）

- （1）要請月日 2018年12月5日（金）14時
- （2）要 請 者
（上十三地域退連）原子会長
金濱副会長、妻神事務局長、熊谷幹事
（協力議員）久慈市議会議員（社民）
畑山市議会議員（無所属）



＜市長に要請書、原子会長（左3人目）＞

- （3）原子会長が要請書を小山田市長に手交。十和田市からは、企画財政部長、健康福祉部長、土木部長、高齢者福祉介護課長、企画政策課長など7名が対応し、1月に文書回答が行われました。
- （4）地域退連では「運転免許自主返納への支援事業」や「十和田市立病院駐車場無料での利用時間」など3項目の独自要請も行いました。

弘前地域退職者連合

田口会長、加藤市議と玉田地協事務局長が同席し提出

（弘前市）

- （1）要請月日 2019年1月10日（木）11時
- （2）要 請 者
（弘前地域退連）田口会長
（連合津軽地協）玉田事務局長
（協力議員）加藤市議会議員（社民）
- （3）要請に対し、弘前市からは健康福祉部長など4名が出席、回答は1月25日文書で行われました。



＜加藤市議、玉田事務局長、田口会長（中）＞

西北五地域退職者連合

長谷部事務局長、つがる市・五所川原市へ西北五地協と

(つがる市)

- (1) 要請月日 2019年2月22日(金) 11時
- (2) 要請者
(西北五地域退連) 長谷部事務局長
(連合西北五地協) 佐藤議長
秋田谷事務局長
- (3) つがる市からは総務部総務課長、福祉部介護課長が出席し要請書を受領、後日回答することとなりました。市からは3月5日、要請書に対する回答書が提出されました。



< 要請書提出、長谷部事務局長 >

(五所川原市)

- (1) 要請月日 2019年3月12日(火) 15時30分
- (2) 要請者
(西北五地域退連) 長谷部事務局長
(連合西北五地協) 秋田谷事務局長
- (3) 五所川原市からは、福祉部長と介護福祉課長が出席し対応しました。市からは3月15日、要請書に対する回答書が提出されました。



むつ地域退職者連合

むつ市と意見交換、三上会長ら幹事会役員など9名で

(むつ市)

- (1) 要請月日 2019年2月19日(火) 13時30分
- (2) 要請者
(むつ地域退連) 三上会長や幹事会役員9名
(連合下北地協) 真壁事務局長
(協力議員) 目時市議議会議員 (社民)
- (3) むつ市に対し、2月19日に要請書を提出し、3月13日に回答書が出されました。
この回答に対して、3月25日むつ地域退連などから9名、市側から担当部課長16名が出席し、質疑・意見交換を行いました。



<

三上会長 (右) 要請書提出 >

- (4) 地域退連では、「むつ市街路灯のとりくみ」「むつ市の高齢化率の推移」「高齢者

が永住できる公営住宅の確保」など6項目の独自要求も行いました。

三八地域退職者連合

今年も小林八戸市長に上杉会長など三役で要請

(八戸市)

- (1) 要請月日 2019年3月29日(木) 15時
- (2) 要請者
(三八地域退連) 上杉会長・和田副会長
松森事務局長
(連合三八地協) 鈴木事務局長
- (3) 上杉会長が要請書を八戸市長に提出、市側からは小林眞市長のほか担当者が対応しました。
要請書に対する文書回答は別途行われます。



＜小林市長（左）に三役で要請＞

第1回幹事会・事務局長会議(2.22)

連合青森より、新しい「県退連旗」「地域退連旗」贈られる



青森県退職者連合は、2月22日(金)「第1回幹事会・事務局長会議」を東北労金会議室で開催しました。会議には幹事会から12名、地域退連会長・事務局長など6名、連合青森から大澤副事務局長の19名が出席しました。

会議では、「全国事務局長会議」の報告の後、今年度も活動の重点を「1万名組織」に向けた組織拡大に置くことなど「年間行動計画」を確認しました。

今年度も組織拡大を重点課題に取り組む。

また、2016年の組織名称の改正以来の懸案であった「新しい退職者連合旗」について、連合青森の全面的な協力により、県退連と地域退連共に作成することが出来、当日贈呈を行いました。連合青森のご支援に感謝申し上げます。



(東青・上十三・西北五の退連旗)



(弘前・三八・むつの退連旗)

第25回参議院議員選挙

連合青森が「小田切さとる」氏(青森県選挙区)の推薦決定

日本退職者連合からも推薦状交付、現退一致で取り組む

連合青森は3月1日第16回執行委員会を開催し、7月に行われる参議院選挙「青森県選挙区」に「小田切達(おだぎりさとる)」氏の推薦を決定しました。

連合本部は3月7日に開催した第20回中央執行委員会、日本退職者連合は3月20日に開催した第4回幹事会でそれぞれ推薦決定を行いました。

これを受けて3月20日(水)、連合青森と日本退職者連合から推薦状を交付、連合青森からは内村会長、日本退職者連合(人見会長)からの推薦状は、青森県退職者連合嶋田副会長が手交し必勝を誓い合いました。



<嶋田副会長(右)が推薦状交付>

(小田切さとるプロフィール)

◎1957年青森県生まれ(61歳) 弁護士

◎所属政党 立憲民主党

◎主な経歴

- ・1984年3月 北海道大学法学部卒業
- ・1991年4月 弁護士登録
- ・2005年4月 青森県弁護士会会長
- ・2008年4月 青森県弁護士会会長

◎主な公職

- ・国立弘前大学監事・県入札監視委員会委員長など

「第11回幸せさがし文化展」作品募集のお知らせ



教育文化協会が主催し、連合や退職者連合が後援する「第11回幸せさがし文化展」が今年も開催されます。退職者連合は7年前から毎年、全国の退職者の会に加入する会員に広く応募を呼びかけていますので、ぜひご応募ください。募集期間は5月31日まで。

「募集要領」など応募に関する問い合わせは、各地域退職者連合へ。

◆募集内容・・・絵画、写真、書道、俳句、川柳

◆応募資格・・・どなたでも応募可 ◆締め切り・・・2019年5月31日(水)

◆賞金・・・①絵画、写真、書道

大賞各10万円・シニア特別賞(80歳以上対象)3万円

②俳句（テーマ：自由題）、川柳（題詠：「やさしい」）各1人2句まで
大賞各5万円・シニア特別賞（80歳以上対象）3万円

＜地域退職者連合の動き＞

今回は前号「70号(1.1)」に掲載できなかった2地域退連の様態を掲載します

むつ地域退職者連合第19回定期総会（12月6日）

学習会や自治体要請について、意見・要望を反映

むつ地域退職者連合は、12月6日（木）11時からむつ市・まさかりプラザで、代議員・役員・来賓など20名が出席し第19回定期総会を開催しました。

三上会長は、「学習会を企画するが、内容についての要望があれば出してほしい」との補足を含めた挨拶を行いました。その後、来賓の川村県退連会長、真壁下北地協事務局長、木立東北労金むつ支店長、河野全労済むつ支所長からそれぞれ挨拶がありました。

討論では、自治体要請の中に「年金受給者が入れる公営住宅を」との要望が出され、要請に反映させることになりました。総会終了後は、交流会が行われました。

三役は下記のとおり

会 長	三上 光春	NTT退職者の会	副 会 長	川上 常春	下北交通壮寿会
事務局長	気仙 忠文	林退会むつ			

弘前地域退職者連合第21回定期総会（12月22日）

新事務局長に松原氏（自治体）を選出、副会長は2名制に

弘前地域退職者連合第21回定期総会は、12月22日（土）10時から総合学習センターで開催されました。総会には、役員と代議員、来賓など23名が出席しました。

田口会長、来賓の泉県退連事務局長、谷川津軽地協議長、工藤労金弘前支店長、佐藤全労済弘前支所長の挨拶の後、議事が進められました。

討論では、南黒の組織化や未加入の退職者会への働きかけなど、組織整備と拡大に対する意見が出されました。

役員については、副会長を2名体制にし、長い間事務局長を務めた久保田氏が副会長に就任、新事務局長に松原氏を選出したほか、今後さらに役員体制を補強する方向で検討することとしました。新三役は下記のとおり。

会 長	田口 勝彦	NTT退職者の会	副 会 長	福士 歳昭	農水省退職者の会
副 会 長	久保田 勝	J P 労組退職者の会	事務局長	松原 孝男	自治体退職者会

(5月の主な予定)

ろうきん退職者の会総会	5月8日(水)11時	労金会議室	泉事務局長
退女教あすなろ会総会	5月10日(金)11時	教育会館	川村会長
J R 総連県協OB会総会	5月18日(土)11時	ロマンピアそうま	嶋田副会長
東北・北海道ブロック協議会総会	5月28日(火)13時	ラ・プラス青い森	四役・連合青森